

令和2年度 仙台市既存放射光施設活用事例創出事業

(トライアルユース事業) 受託者の募集

仙台市では、仙台・東北の事業者が、令和5年稼働予定の次世代放射光施設活用によりイノベーションや付加価値の創出につなげ、地域経済への波及効果を生み出す「光イノベーション都市」の実現を目指しております。

当該事業では、国内既存放射光施設を活用した多種多様な事例を創出し、その事例を活用した普及啓発を行うことで、放射光施設の産業利用可能性を認識してもらい、次世代放射光施設稼働後の積極的な活用につなげていくことを目的としています。

「次世代放射光施設」とは

- ナノまでを観察することができる世界最先端の巨大な顕微鏡
- 東北大学青葉山新キャンパスに整備され、令和5年運用開始予定

左図 次世代放射光施設イメージ図
(一財)光科学イノベーションセンター提供



募集
期間

令和2年 6月19日(金) ~ 8月21日(金)
午後5時(必着)

募集
内容

国内既存放射光施設利用による事例を創出し、
事例報告書及び発表資料を納品する

※測定試料の作製行程等は、受託者の裁量で機密事項として取扱いを可能とします。

対象者

国内に事業所を置く法人(中小企業者)

※法人でない社団又は財団で代表者又は管理人の定めがあるものを含みます。その他要件等の詳細は募集要項をご確認ください。

選定審査等

書類審査及びオンライン面接審査にて
受託候補者を選定する

選定件数

予算の範囲内で5件程度

(うち東北地方内に事業所を置く法人から3~4件程度を採択)

委託上限額

150万円 /1件

※対象経費:放射光施設使用料、消耗品費、測定部品、試料等の輸送費、
職員の現地派遣交通費・宿泊費、測定データ解析・加工費等

契約期間

契約日~令和3年3月31日(水)まで

スケジュール

令和2年	7月10日	質問締切
	8月21日	応募締切
	9月中旬	審査会(オンライン)
		(※詳細日程等は決まり次第、下記ホームページに掲載します)
令和3年	2月26日	事例報告書提出
	3月22日	完了報告書提出

事前協議

採択後の事業実施を効率的に進めるため、各施設側との事前協議実施をご検討下さい。(本市と連携協定を締結した分析会社との事前協議で代替することも可能)

申込
受付

詳細は仙台市産業振興課ホームページをご覧ください。

https://www.city.sendai.jp/renkesuishin/jigyosha/kezai/sangaku/housyakou_trial-use.html



お問合せ先

仙台市役所 経済局 産業振興課 (担当) 高橋・齋藤

TEL:022-214-8768 FAX:022-214-8321 E-mail:kei008030@city.sendai.jp